

広報

くどがま

2024

1月号

No.579

開運招福

世界遺産

今年は、辰年です

よい一年でありますように！

— 丹生官省符神社 —

辰 年生まれ 年頭によせて

今年も年頭によせてさまざまな「思い」をつづっていただきました。



九度山小学校5年
石井 綾さん

私の夢

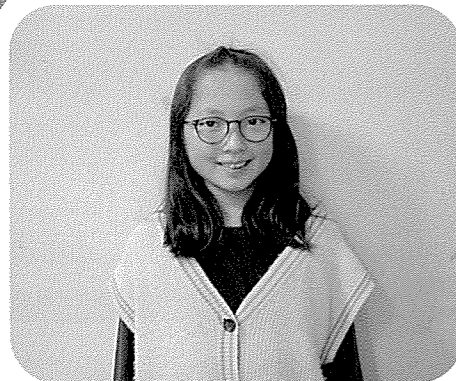
新年明けましておめでとうございます。
私のしょう来の夢は、医りょう系の仕事につくことです。なぜなら、治りょうがむずかしくつらい思いをしている人や苦しんでいる人を少しでも助けたいと思っているからです。
もうすぐ、6年生になるので、毎日の学校生活をおもいきり過ごしたいです。そして、勉強やスポーツにも精一杯取り組んでいきたいです。
次のたつ年がきたら、24才です。そのときには自分の夢がかなっているとうれしいです。
夢がかなえられるように、これからも努力しようと思います。そして、医りょう系の仕事につき、いつもお世話になっている父と母に、おんがえしをしたいと思います。



九度山小学校5年
木村 奏翔さん

新年を迎えて思うこと

新年明けましておめでとうございます。
ぼくが新年を迎えて思うことは、一年間が一月のように短く感じたことです。時間というのは、いやなときなどは長く感じたり、楽しいときなどはすごく短く感じたりします。時間はなぜ早く進んだと感じたり、ゆっくり進んだと感じたりするのか不思議に思います。
ぼくは、今年、最高学年の六年生になります。六年生になれば、しっかりと時間を管理できるようになりたいです。時間は早く進むと考え、どんなことにも前もって計画を立て、早く行動をしようと思います。そうすることで自分にゆとりが生まれ、優先順位を考えた行動ができると思います。だから、ぼくの今年の抱負は「時間をしっかりと管理できる人になる。」です。



九度山小学校6年
辻本 有花さん

将来の夢

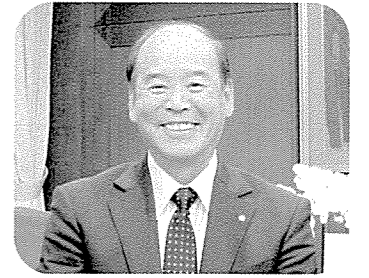
新年明けましておめでとうございます。
私は今年、年女で、3月に九度山小学校を卒業します。
私の将来の夢は、デザイナーです。私は絵をかくことが好きで、特に漫画・アニメ寄りの絵をかきます。絵をかいている中で、服をデザインすることがあるのですが、何度もデザインしていくうちに、いつしかそれが将来の夢になっていました。そこで私は、「夢は見つけるものではなく、つかみにいくものだ。」と思いました。
次の年女は24さいです。そのときの私が、今もっている夢をかなえているかは分かりませんが、いつかその夢を実現できるように、何事にも挑戦し、あきらめない気持ちを大切に、一步一步前に進んでいきたいです。

和歌山県司法書士会と防災協定を締結

11月20日、町と和歌山県司法書士会との間で「災害時における被災者相談業務の実施に関する協定書」を締結しました。
本協定では、災害発生時に、和歌山県司法書士会が相談員を九度山町に派遣し、家屋が倒壊した場合の不動産に関する手続きなど、司法書士が取り扱う災害復旧に関する法制度について、被災者が無償で相談できます。
町民の皆さまには、大規模災害時においてご理解とご協力をお願いします。

(3)広報くどやま 令和6年1月号

令和6年 新年のごあいさつ 日本一元気な町を目指して



九度山町長 岡本 章

新年、あけましておめでとうございます。
町民の皆さま方には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、平素より町政の推進に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
まず最初に昨年は、相次ぐ台風に見舞われ、特に6月の台風第2号に伴う豪雨災害は、過去最大級の被害となりました。被害を受けられた皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。町としましては、1日でも早い復旧と災害対応体制のさらなる充実に向け最大限の努力をしているところです。

さて、長年の懸案事項でありました中山間農作業道改良工事が、昨年4月に大字入郷地内の完成に伴い、全線開通となりました。また、12月には老人福祉施設「国城寮」が橋本市から大字九度山地内に新築移転され、橋本伊都地域の広域福祉行政の新たなスタートがきられました。

さらに、町を挙げての大イベントであります「真田まつり」、「くどやま芸術祭2023」、「大収穫祭」が盛大に行われ、ご協力いただきました関係者および来場者の皆さまのおかげをもちまして、大盛況のうちに終えることができ、九度山町の魅力を存分にPRできたものと確信しております。

今後も、地域の観光資源を最大限に活用し、観光振興に取り組むとともに、子育て支援、高齢者に対する医療・福祉の充実や道路網の整備を進めるなど、より住みよいまちづくりに向けた施策を実施してまいります。

本年も、『知恵と対話』を信念に町民の皆さまとともに創意工夫を凝らしながら、『日本一元気なまち九度山』を目指してまいり所存でございます。どうか皆さま方には、引き続き格別なるお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



九度山町富有柿品評会審査結果

今年度の審査結果は、以下のとおりとなりました。(敬称略)

- 和歌山県知事賞 道浦 義彦 (下古沢)
- 和歌山県議会議長賞 前田 貴史 (丹生川)
- 九度山町長賞 山本 恵造 (慈尊院)
- 伊都振興局長賞 狭間 富男 (慈尊院)
- 紀北川上農業協同組合代表理事組合長賞 田中 昭子 (九度山)
- 和歌山県農林大学校長賞 宮本 収子 (河根)
- 九度山町柿の里振興公社理事長賞 狭間 祥元 (慈尊院)
- 九度山町建設業協会賞 元家 良輔 (九度山)
- 産直市場よって賞 金澤 功悦 (推出)



全国老人クラブ会長表彰「老人クラブ育成功労」受賞

11月8日～9日、あきた芸術劇場ミルハウス大ホールにおいて、全国老人クラブ大会が行われ、杉浦英さん(福寿クラブ)が全国老人クラブ会長表彰「老人クラブ育成功労」を受賞されました。

杉浦さんは、平成24年度から九度山町老人クラブ連合会女性部長、令和2年度から伊都郡老人クラブ連合会女性部長に就かれ、「夏祭り」「健康ウォーキング」「制作活動」等のイベントにおいて、会員の皆さんが楽しく過ごしてもらいたいという思いで企画・運営に積極的に活動されています。

また、会員増強にも熱心に取り組み、老人クラブの育成発展に貢献し、その功績が顕著であると認められ、受賞されました。



▲左 杉浦さん

「白梅賞表彰」受賞

11月10日、和歌山県庁において、令和5年度和歌山県白梅賞表彰式が行われました。

社会福祉に献身的に活動し、その業績が顕著であり、他の模範であるとたたえられ、深山ひとみさん(九度山町社会福祉協議会)が和歌山県白梅賞を受賞されました。



▲左 深山さん

第15回大収穫祭 IN 九度山が開催されました！

11月11日、12日に道の駅「柿の郷くどやま」芝生広場において、大収穫祭 IN 九度山が開催されました。

今年度は、4年ぶりに飲食ブースやフリーマーケットも復活し、2日開催でおこないました。

両日とも多くの来場者で会場は賑わい、地元特産の富有柿はもちろん、姉妹都市長野県上田市のりんごブースにも長蛇の列がでるほどの盛況ぶりでした。また、ステージでは、紀州九度山真田武将隊の演武、紀の国やっちゃん、太鼓演奏、柿のかわむき大会などがおこなわれ、楽しい一日となりました。



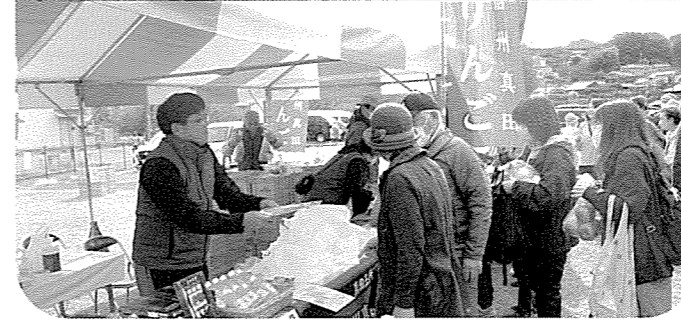
▲オープニングセレモニー



▲大盛況のお店の様子



▲紀州九度山真田武将隊の演武



▲紀の国やっちゃん



▲柿の皮むき大会
優勝記録は132cmでした！



▲紀州九度山真田太鼓保存会

九度山町功労者表彰式

11月3日、ふるさとセンターにおいて、九度山町功労者表彰式が開催されました。

この表彰は、公共の福祉増進に功労のあった方やその他広く町民の模範となるべき方を表彰して、その功績をたたえることを目的としています。今年の実賞は、6名1団体の7賞となりました。

今年受賞された方々は以下のとおりです。

受賞者のみなさん（順不同）

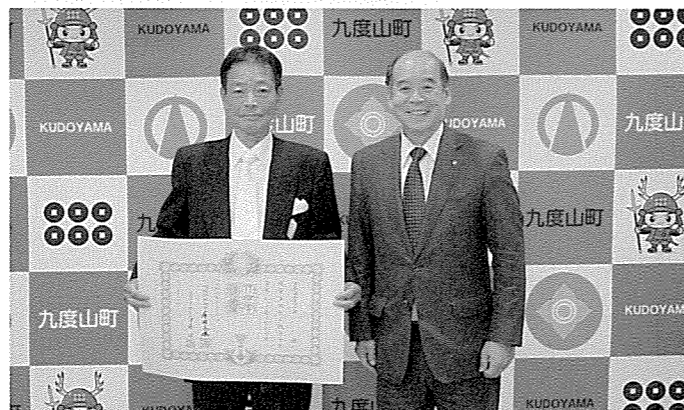
自治功労	谷 敏彦 様	観光功労	坂本 昇 様
	堀内 万基子 様	農林業功労	野中 義幸 様
消防水防功労	梅下 友楠 様	教育功労	紀州九度山真田太鼓保存会 様
交通安全功労	松井 清澄 様		



「瑞宝単光章」を受章

令和5年秋の叙勲が11月3日に発表され、本町から南 健さん（推出）が自治体消防において多大な貢献をされた功績により「瑞宝単光章」を受章されました。

南さんは、昭和57年に九度山町消防団に入団以来、平成27年から平成31年までは第3副分団長を務められ、退団されるまでの35年の永きにわたり、人命、財産を守る消防活動に一身をささげられました。



▲左 南さん

第6回 森の秋コンサートが開催されました

10月29日、くどやま森の童話館において、「第6回森の秋コンサート」が開催されました。

今回はピアニストの佐藤浩一さんと、お馴染みのチェリスト、デュピイ・ロビンさんのお二人が出演されました。

当日は天候にも恵まれ、多数の観客が会場を訪れ、お二人による素晴らしい演奏に、時間を忘れて聴き入っていました。



第60回 町文化祭が開催されました

11月2日、3日に、九度山町中央公民館において、「第60回町文化祭」が開催されました。

今回は写真や絵画、陶芸や盆栽などの展示作品が330点、3日の演技発表では11団体が日頃の練習の成果を発揮され、子供から大人まで多数の来館者があり、皆様には大いに楽しんで頂けました。



▲バイオリンクラブの演奏



▲子ども英語教室の英語の歌

子どもたちが柿の収穫体験を行いました

11月14日、九度山小学校ときのかわ支援学校の子どもたちが、中谷裕一さん（九度山）の畑を訪れ、柿についての授業を受けました。

子どもたちは、大きな富有柿を収穫し、楽しんでいました。



11月20日、九度山幼稚園の子どもたちが、栗林良次さん（九度山）の園地において、柿の収穫体験を行いました。

子どもたちは、はさみを上手に使い、たくさんの柿を収穫しました。



九度山なぎなた教室

11月3日、4日の2日間にわたり新宮市の近大新宮高等学校・中学校体育館において、第47回和歌山県なぎなた秋季大会が開催され、当教室が優秀な成績をおさめました。

結果（敬称略）

男子個人の部

優勝 森 遥希

打ち返しA

3位 辻松 葵璃

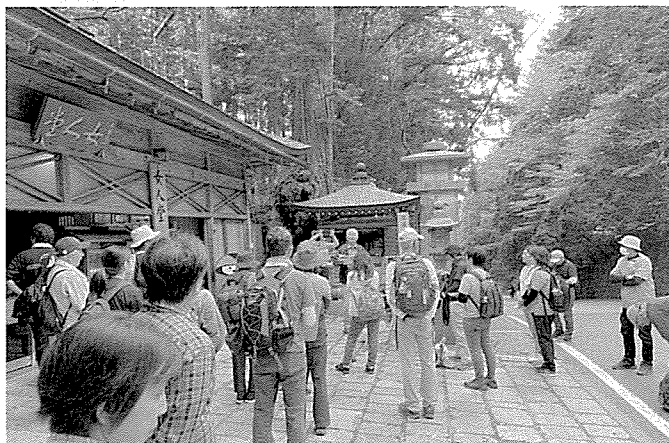


「日本遺産 女人高野巡礼ハイキング」が開催されました

11月5日に、「女人高野巡礼ハイキング」が開催されました。

女人高野「慈尊院」を出発し、旧白藤小学校でお昼休憩後、不動坂を通り女人高野「不動坂口女人堂」まで解説を聞きながら歩きました。

当日は天候にも恵まれ、参加者の皆さんは、古（いにしえ）の女人高野に思いを馳せ、秋の紅葉も楽しみました。



世界遺産に次ぎもう一つの称号を得た慈尊院

～日本遺産「女人高野」の魅力！その（4）～

今回は境内の西側にある訶梨帝母（かりていぼ）堂に祀られる鬼子母神（きしぼじん）について、紹介致します。

鬼子母神は伝説では、邪悪な性質をもち500人から1,000人の子供の母親でした。自分の子供を育てるため他人の子供を奪って食べていたので、あるとき愛する子供をお釈迦さまに隠されてしまいます。子供を奪われた母心をお釈迦さまに諭され、それからは優しい母親になり、後に神となったとされています。

主にご利益としては、安産、子育て、子供の安全などが挙げられます。



▲鬼子母神が祀られる訶梨帝母堂